公益社団法人乙訓青年会議所　広報誌

おとくにしんぶん ⑫

2014

http://www.otokuni-jc.org/

発行／公益社団法人乙訓青年会議所　〒617-0826 長岡京市開田３丁目 10-16 長岡京市立産業文化会館２F　編集／広報渉外委員会

Contents

卒業生からの一言

京都ブロック協議会
委員会報告会並びに
本次年度合同懇親会

第１１回乙訓
ふるさとふれあい駅伝

2014年度　公益社団法人乙訓青年会議所　スローガン

不動心！
未来への原動力となれ！
―感謝を胸に活気あふれる乙訓を目指して―

理事長対談

田中理事長×三宅理事長予定者

◆本年度を振り返って

（田中理事長）本年度、理事長をさせて頂いて思う事はメンバー皆さんの力の大きさがこの乙訓青年会議所の凄さだと思いました。また先輩の方々にもご協力を頂きまして、この一年間活動が出来たのではないかと改めて強く思います。色々な場所で先輩方のお話を聞きますが、その中で私たち現役メンバーは先輩方々が受け継いで来られた伝統の上で活動させて頂き、そんな素晴らしい先輩方との繋がりを深く感じさせて頂く事が出来ました。三十五周年記念式典・懇親会の事業を通してメンバー一人ひとりが活動し経験を積む事で、私が掲げますスローガン「不動心！未来への原動力となれ！」の「不動心」をしっかり一年間自分の中に持って頂けたのではないかと思います。

◆二〇一五年度どのように思いを引き継いでいかれるのか

（三宅理事長予定者）二〇一四年度の活動においても田中理事長がおっしゃられた三十五周年の活動や思いも踏まえながら今までの乙訓青年会議所が築いてきた三十五年間の歴史と伝統の延長線上に私たちが活動させて頂いている重みを私自身がしっかりと現役メンバーに伝播して行く事が必要だと思っています。その中で三十五周年を終えた後の新たなスタートラインに立たせて頂く事にあたってはメンバーが若返りをはかる一年になると言う事を認識していますし、ご卒業された先輩方と接した事のないメンバーが増えてきた中で乙訓青年会議所の伝統や歴史を伝えて行く事がより重要だと思います。またその伝統や歴史を引き継ぎながら、二〇一五年度においては新たな試み、チャレンジを見据えて活動していきたいと思っています。

◆これからの乙訓青年会議所の方向性と期待する事

（田中理事長）入会年度の浅いメンバーがたくさん増えていく中で、先輩から受け継いできた乙訓青年会議所の歴史と伝統を正副、理事メンバーがどんどんと現役メンバーに伝えて頂きたいと思います。私も今年で卒業しますが直前理事長としてしっかりとコミットしながら色々な事を伝えていきたいと思いますし、伝える事で私たちが勉強になる事もありますのでしっかりと協力させて頂きます。またその伝統を重んじる中で新しいメンバーにはどんどんと新しい事にチャレンジしていって頂きたいですし、正副、理事メンバーはその下支えをしっかりとして頂きたいと思います。

◆二〇一五年度の意気込み

（三宅理事長予定者）私が青年会議所に入ったのは二〇〇五年です。単年度性でありますので毎年理事長が変わり現在まで一〇名の理事長を見させて頂きましたが、やはり理事長は大変な役職だと思います。胸を張り意地も張って活動されてきた姿を見させて頂き、今私もその一歩を踏み出そうとしています。その中で二〇一四年田中理事長がされてきた乙訓青年会議所の方向性を引き継ぎながら新たな事へのチャレンジをしていきたいと思います。また今年度は新たなファイナルアクションプラン『地域と共に夢と誇りを育む乙訓創り』を行動指針として提言されました。その中で私は「夢」と言う言葉がキーワードになると思い、来年度のスローガンは夢を持ち続け諦める事無く邁進し続けるという意味で「ＳＴＡＹ　ＤＲＥＡＭ」と掲げさせて頂きました。来年度は三年後、五年後、十年後と未来を見据えて、このスローガンとともに活動して参ります。また現役のメンバーにはこの青年会議所に入って良かったと思って頂けるような一年間になるように先頭きって進んでいきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

２０１５年度第３６代理事長予定者
三宅 尚嗣

平成１７年　３月９日入会
平成２２年　地域貢献推進委員会 委員長
平成２４年　副理事長
平成２７年　乙訓青年会議所　理事長

２０１４年度第３５代理事長
田中 俊幸

平成１２年　入会
平成１９年　広報渉外委員会　委員長
平成２５年　副理事長
平成２６年　乙訓青年会議所　理事長

会員募集

青年会議所（ＪＣ）は「明るい豊かな社会の実現」を理想とし、「奉仕・修練・友情」を信条として様々な活動をしている青年経済人の集まりです。会員資格は二十歳から四十歳迄と年齢制限があり、メンバーは限られた時間の中で次代のリーダーとなる責任感を持ち切磋琢磨しています。地域の産業を担う青年経済人の人的ネットワークを広げ、より青年会議所運動を展開する為に、メンバー一同、共に夢を語り合える仲間としてＪＣの扉を開いて頂ける事をお待ちしています。乙訓青年会議所では随時メンバーを募集しております。
ご興味がある方は公益社団法人乙訓青年会議所事務局（〇七五―九五七―一二三〇）まで

第十一回乙訓ふるさとふれあい駅伝

十一月二十二日（土）第二十五回乙訓地方小学生駅伝大会・第十一回乙訓ふるさとふれあい駅伝が開催されました。

秋晴れの下、大山崎小学校から長岡京市内を抜け、向日市体育館を目指し、約九・一九ｋｍのコースを、選ばれた各小学校の代表選手たちが元気良く駆け抜けていきました。

子ども達の真剣な表情で走る姿を見ると、この大会への選手一人ひとり思いが伝わってくるように感じました。沿道で観戦する方達も一生懸命に走る姿に必死で応援されていました。

毎年、この大会には多くの方々が関わり、今年も事故なく無事に大会を終える事が出来ました。来年も開催される予定となっていますが、一人でも多くのひとが関わる事で大会は更に大きなものへと発展してゆくのではないでしょう

新入会員紹介

いつもお世話になっております！八月に入会させて頂きました、宮下元明と申します。

公益社団法人乙訓青年会議所に入り、色々な方達と知り合い・自分自身まだまだ・手探り状態ですので、皆様と良い絆が出来ればと思う所存です。
宮下 元明

乙訓青年会議所に入会して五ヶ月が過ぎようとしています、この五ヶ月の間だけでもとても充実した内容の濃い経験をさせて頂きました。僕はＪＣ生活が後十三年あるので、これ以上の経験がこれから十三年待っていると思うと楽しみですし、自分自身成長しながら自分のやるべき事や出来る事を自信を持ってやっていきたいと思います。
上原　史明

長岡京市ガラシャ祭り

十一月九日（日）長岡京市ガラシャ祭りが開催されました。

恒例となった行列巡行が、長岡第六小学校を出発し、市役所前・長岡京駅前を経て勝竜寺城へと向かいました。当日は朝から雨でしたが幸いにも巡行の時には雨も小降りになり予定通りに執り行われました。戦国時代を再現した衣裳を身に纏った、お興入れ行列が次々と登場し、巡行の締めくくりとして意気あふれる長岡京なるこ踊りが披露され盛大な巡行となりました。

また、市内各地の広場では京都府内の特産品やグルメの販売、フリーマーケット等が賑わいを見せていました。こういった場を設ける事で人と人との交流が図れ、繋がりが出来る事で更にガラシャ祭りが大きなものとなっていくのではないでしょうか。

編集後記

皆様、一年間おとくにしんぶんをご愛読頂き誠にありがとうございました。

２０１５年１月号からはＪＣ運動発信委員会による一新されたおとくにしんぶんが発刊されます、引き続きご愛読頂きますようよろしくお願いします。

広報渉外委員会　　委員長 水原年貴　　編集長 中川浩司　副編集長 大塚健介　編集委員 上坂彰男　金子明日嘉　榊原政人　波多野裕人　中知哉